

令和5年第1回定例会

一般質問通告書（質問事項要旨）

令和5年 3月22日
3月24日（3日間）
3月27日

南風原町議会

目次（一般質問日程表）

議席番号	氏名	頁	質問日
1	16番議員 赤嶺 奈津江	1	3月22日（水）
2	13番議員 照屋 仁士	3	
3	10番議員 大城 勇太	4	
4	2番議員 大城 重太	5	
5	15番議員 知念 富信	6	
6	6番議員 大城 雅史	7	3月24日（金）
7	14番議員 浦崎 みゆき	8	
8	5番議員 伊佐 園恵	10	
9	12番議員 金城 憲治	12	
10	4番議員 西銘 多紀子	13	
11	11番議員 新垣 善之	14	3月27日（月）
12	3番議員 當眞 嗣春	16	
13	7番議員 岡崎 晋	18	
14	8番議員 大宜見 洋文	19	
15	9番議員 石垣 大志	21	
16	1番議員 玉城 陽平	22	

和5年3月2日作成

□ 赤嶺奈津江 議員

1. 医療費助成事業、窓口無料化（現物給付）について

【 町長・教育長 】

（1）重度心身障害者（児） 医療費助成事業、母子及び父子家庭等医療費助成事業については、当初こども医療費と一緒に現物給付を目指すことを本町は目標としてきた。今現在どうなっているか。

（2）高校三年生までの医療費無料化がはじまって約5か月、状況はどうなっているか。

（3）国のペナルティについての見解を伺う。

2. 学び直し、リカレント教育、リスクリングのサポート体制構築・強化を

【 町長・教育長 】

（1）コロナ禍において、高校中退や大学中退する子も多くなったとの情報もある。また、これまで家庭環境や様々な理由で学びをあきらめたり、リタイヤする方もいたが学び直しを希望する方も多くいる。しかし、なかなか情報が入らなかつたり、受験についてどう行動すればよいかわからない方もいる。ぜひ、サポートする体制・システムを作つてほしいがどうか。

（2）リカレント教育やリスクリングを奨励する企業へのサポート体制を整え、情報や奨学金などで「支える」体制を強化してほしいがどうか。

（3）学び直しの一番の壁となるものは時間と費用の2つです。
時間については、有給教育休暇の制度といったものが必要になると考える。しかし、いくら時間があっても、費用を個人に負担させてしまうと実行性は限りなく低くなる。費用の全額もしくは一部補助が必要になると思う。そこで、補助金制度を町独自で、もしくは、広域で取り組むことはできないか。

(赤嶺奈津江議員 一般質問)

3．那覇空港道路桁下活用について

【町長・教育長】

(1) 花水緑の大回廊公園事業で桁下にドッグランを整備できないか。

4．災害時の対応について

【町長・教育長】

(1) 「災害廃棄物処理計画は別に策定することに努める」と防災計画に規定しているが、廃棄物の種類分け、また、ある程度の広さが必要になると考える。これは、ぜひ、災害種類別に収集方法、集積場所を検討しておくべきと考えるがどうか。

(2) ペットを連れての避難訓練を行う計画はないか。

5．津嘉山公園及び津嘉山区画整理事業の早期完成を

【町長】

(1) 津嘉山公園及び津嘉山区画整理事業の完成はいつか。

(2) 津嘉山公園について、町民から完成が遅いのではないかとの声がある。補助金が足りない場合は、一般会計から繰り出して進めてほしいが、どうか。

(3) 津嘉山区画整理事業について、早期に完成するように進めてほしいが、課題はなにか。

□ 照屋仁士 議員

1. 地域活動の核となる組織、団体を支援せよ

【 町長・教育長 】

(1) それぞれの社会教育団体が果たす役割を、町行政はどう認識しているか。

(2) 協働のまちづくりの原動力として、社会教育団体を支え、活性化してほしい。
支援強化に取組んでほしいがどうか。

(3) 全ての自治会に青年会を結成せよ。

2. 行政DX、推進体制を整備せよ

【 町長 】

(1) 現在の取組状況を説明せよ。

(2) 外部人材の活用を検討せよ。

(3) 民間との連携協定を進めよ。

3. 具体的な人口政策に取組め

【 町長 】

(1) 新たな人口ビジョンを基礎に、もっと発展的な人口政策を求めるがどうか。

(2) 空き地空き家を解消し、利活用する、具体的な取組を進めよ。

□ 大城勇太 議員

1. 本町の道路行政について

【 町長 】

(1) 国道507号線、津嘉山十字路から、津嘉山南十字路までの、道路拡幅工事について。

(2) 津嘉山十字路から南部農林高校までの道路の整備状況を伺う。

(3) バス停屋根設置について伺う。

2. 来年度における待機児童について

【 町長 】

(1) 保育園の待機児童を伺う。

(2) 学童の待機児童を伺う。

(3) 待機児童がいる場合の本町の対策を伺う。

3. 保護司会との連携強化について

【 町長 】

(1) 経済的に困窮する若年者等の就業に必要な資格、免許等の取得費用の助成ができるないか。

(2) 更生保護就職支援と本町の連携強化はできないか。

□ 大城重太 議員

1. 照屋区内通学路に信号機の設置を

【 町長 】

(1) 以前から照屋給油所前の横断歩道に信号機の設置を要望しているがどのような状況か。

(2) 信号機の設置以外でも町として対応できることはないか。

2. 南星中学校にハブ対策ネットを

【 教育長 】

(1) 南星中校内でハブが数匹捕獲されているが、対策できなか。

3. 防災公園の整備を

【 町長 】

(1) 公園の機能に災害時に対応できる設備はあるか。

(2) 公園=災害時の避難場所として意識づける取り組みはあるか。

(3) 各公園に、かまどベンチや防災トイレなどを整備し防災公園として整備、位置付けしてはどうか。

4. 児童生徒の不登校対策を問う

【 教育長 】

(1) 児童生徒の不登校の状況はどうなっているか。

(2) どのような支援をしているか。

□ 知念富信 議員

1. 桁下公園の見直しを

【 町長 】

(1) スケートボード場を初心者用、上級者用として整備し、県内大会を開催できる施設にできないか。

(2) バスケット場が2面の内、1ヶ所が使用不能、1ヶ所の床面は剥がれている状況です。2面整備できないか。

(3) ドリームコート内のベンチ等、破損で環境が悪い。再整備できないか。

(4) ドッグランの場所が町内になく、桁下公園の一角で登録犬による公園として、整備できないか。又、町内で登録されている頭数を伺います。

2. 南風原バイパスを問う

【 町長 】

(1) 南風原バイパスの新川～宮平区間の完成年度と全区間の完成年度を伺う。

(2) 南風原バイパスの桁下公園計画はあるか。

3. 電光掲示板の復旧を

【 町長 】

(1) 兼城十字路の電光掲示板の故障原因を問う。

(2) 電光掲示板の高さを上げて新たに設置できないか。

□ 大城雅史 議員

1. 町道73号線道路下の擁壁の排水について問う

【 町長 】

(1) 町道73号線の擁壁の排水について雨天時に多量の雨水があり、隣接農地においては、常にぬかるんだ状態で野菜が育てられないとの事。現状を確認し対処できなか。

(2) 工事期間中に排水の件にて説明したが改善されておらず、当時の対応状況を問う。

2. 沖縄産業開発青年協会と提携し若者就業支援プログラム補助金を活用できないか。

【 町長 】

(1) 沖縄産業開発青年協会と提携し「若者就業支援プログラム」の補助金などを活用できないか。

3. イネ科の多年生草本ベチバーの有効活用について問う

【 町長 】

(1) イネ科の多年生草本ベチバーの有効活用について。

(2) かぼちゃ農家の方よりベチバーは敷き草等、有効利用できることからJAと連携し補助金等の活用はできないか。

□ 浦崎みゆき 議員

1. 生活困窮者に支援策を求む

【 町長 】

(1) 新型コロナウイルス特例貸付制度について。

①本町の生活福祉資金貸付件数及び世帯数を問う。

②初回の返済免除申請件数は何件か。

③返済免除件数は何件か。

④免除並びに免除に至らなかった世帯へ国、県の支援策はあるか。

⑤本町独自の支援策の見解を伺う。

2. 骨髓移植ドナー助成制度について

【 町長 】

(1) 骨髓バンク推進事業の見解を伺う。

(2) 骨髓移植ドナー助成制度の目的と内容はどのようなものか。

(3) 沖縄県が制度を導入する自治体へ補助を行っている。本町に骨髓移植ドナー助成制度の導入をすべきと考えるがどうか。

(浦崎みゆき 一般質問)

3. コミュニティ・スクール導入の早期実現を

【 町長 】

(1) 全国でコミュニティ・スクールの導入学校数と沖縄県内導入数を伺う。

(2) 教育委員会で議論はなされているか。

(3) 課題と今後の展開はどうになるのか。

4. 野焼きの対策強化を

【 町長 】

(1) 本町の野焼きの現状はどうなっているか。

(2) 野焼きの対策はどのように行われているか？行政指導を行った地域を伺う。

(3) 野焼きは法律で禁止されている。禁止の例外もあるが、近隣住民とのトラブルや生活環境の悪化をまねくものである。強い対策が必要と思われるが見解を伺う。

□ 伊佐園恵 議員

1. 黄金森陸上競技場のトラックの安全確保をしてほしいがどうか 【 教育長 】

(1) 約7年前にトラック張り替えを行ったときのかかった費用はいくらか？

(2) レーン内側を仕切る縁石が、劣化により危険である。改修工事はできないか？

(3) トラックの苔がひどく、雨天後等に歩くだけで滑る。苔を落とす機械（車型）の購入をしてほしいがどうか？

2. 児童、生徒に関わるすべての方々に、基本的な教育知識を周知してほしいがどうか 【 教育長 】

(1) 教育委員会、部活動指導員、スポーツ少年団関係者等に、基本的な教育知識として①学校教育法第11条体罰の禁止（違法行為である）、②AEDの使用、③RICE処置、④勝利至上主義とは、⑤ジュニア期のスポーツ障害、⑥最近の教育事情について等、周知してほしいがどうか？

3. 子育て世代に対し、町ならではの支援策はあるか 【 町長 】

(1) すべての子育て世帯、月1回（1食500円くらいの内容×子ども人数）子ども弁当又は、食堂を1食100円で食べられる、未来チケットのような仕組みづくりをしてほしいがどうか？

(2) 子どものあそび場の確保に、日曜日、祝日の児童館を保護者同伴で利用できるようにしてほしいがどうか？

(3) 津嘉山北区画整理地区の予定されている公園（ビックの裏あたり）についてR5年度中に着工してほしいが可能か？

(伊佐園恵 一般質問)

4. エコな町への仕組みづくりに取り組んでほしいがどうか

【 町長 】

(1) エコな取り組み、①エコ製品の購入時、②エコ製品の製造等、エコポイントを付与するなど、循環型社会を楽しく（長く）続けることができる仕組みをつくってほしいがどうか？

5. 女性について、町独自の支援策はあるか

【 町長 】

(1) 人工妊娠中絶は10代より40代が多い、そもそも私たちはどの世代も（男女）自分の体について正しく学ぶ機会がほとんどない、専門家による性教育（命育）の充実をはかってほしいがどうか？

(2) 委員会等、女性の20代、30代はほとんどないと感じるが、その世代の女性の意見は、町はどこで把握できるのか？

(3) 子育て世代のジェンダーギャップもまだまだあり、エコセンターにリユースの学用品を受け取りに来る方、社協の子ども弁当を100円で購入しに来る方の9割が女性である。家事、育児、介護、仕事等、何足ものワラジをはき、歯を食いしばって生活をすれば体を壊しかねない。町として独自の、効果的な支援や取り組みはあるか？

(4) コロナ後遺症は男性よりも女性が2～3倍と多い、コロナ後遺症に含まれるMEを知っているか？

□ 金城憲治 議員

1. 本町の災害対策について

【 町長 】

(1) 県道241号線、文化センター側の傾斜に設置されている、土留め用の間知ブロックが崩れている兆候があるが、現状を確認しているか伺います。

(2) 喜屋武自治会より、県へ現状を伝えているが、県からは何ら回答がない状況です。本町へは何らかの情報提供があったか伺います。

(3) 本町として、どのような対策が可能か伺います。

2. 本町のかすりの後継者研修制度について

【 町長 】

(1) 現在、本町でおこなわれている琉球かすり南風原花織の後継者育成研修制度にはどのようなものがあるか伺います。

(2) 本町は、琉球かすりの里として認知されており、県内外および海外の多くの観光客に、もっとかすりと南風原花織の素晴らしさを知ってもらう為には、かすり花織資料館みたいなものが必要ではないかと考えますが、かすり資料館等の構想はあるか伺います。

3. 本町のスケートボード場について

【 教育長 】

(1) 本町のスケートボード場を生かした、イベント等の計画はあるか伺います。

(2) スケートボード場を拡充できないか伺います。

4. 学校教育活動以外の派遣について

【 教育長 】

(1) 本町の学校教育活動以外の派遣による生徒の出欠扱いについて伺います。

□ 西銘多紀子 議員

1. 全国で生産量1位を誇るヘチマについて

【 町長 】

(1) 「美らへちま」について

(2) 研究・加工開発など今後の取り組みについて

2. 中学校部活指導員と外部指導者について

【 教育長 】

(1) 現在の進捗状況

(2) 今後の計画について

3. 兼本ハイツに道路環境について

【 町長 】

(1) カーブミラーの設置及びガードレールの点検補修について

□ 新垣善之 議員

1. こどもの健やかな成長のために

【 町長・教育長 】

(1) 学校規模適正化調査の結果と今後の方向性を伺う。

(2) 多種多様な子どもの課題解決に向けて、スクール・ソーシャル・ワーカー (SSW) を正規に採用してはどうか。

(3) 学校教育と地域福祉を融合することによって、重層的支援体制が確立できると考えるが見解を伺う。

(4) 食材費の高騰が続くなかで、学校給食費高騰分の支援策はあるか。

(5) 中央教育審議会において、小学校高学年に4教科（外国語、理科、算数、体育）で教科担任制を導入する検討がなされている。体育専科は早期に導入すべきと考えるが見解を伺う。

(6) 部活動地域移行に向けた今年度の計画を伺う。

(7) 樹木検査等で枯木の疑いによる伐採は、何件あったか。また、高木伐採の計画を伺う。

(8) 本町は年々、道路の形態が少しづつ変化している。新年度に向けて、運転者、歩行者に交通安全の徹底を再度周知ほしいがどうか。

(新垣善之 一般質問)

2. 地域福祉の向上に向けて

【 町長 】

(1) 民生委員・児童委員の成りて不足をどう解消するか。

(2) コミュニティ・ソーシャル・ワーカー(CSW)を正規に採用してはどうか。

3. 町地域防災計画を着実に実行せよ

【 町長 】

(1) 今後の防災減災に対応するために、防災担当職員の増員をしてはどうか。

4. 社会教育の充実を

【 町長・教育長 】

(1) 各種教育団体がマイクロバスを使用する頻度は多いと思うが、購入の予定はあるか。

5. 財政健全化計画の総括を問う

【 町長・教育長 】

(1) 本計画の総括を伺う。

(2) 各種団体への補助金はどうなったか。

(3) 当初予算ベースで、光熱水費が前年比約4,000万円増となっている。国からのエネルギー高騰支援はあるか。

□ 當眞嗣春 議員

1. 安保 3 文書について

【 町長 】

(1) 安全保障 3 文書に対する町長の見解を問う。

(2) 1915年の安保法制で「戦争できる国」から安保 3 文書で「戦争する国」へと大きく変貌した。沖縄は那覇の陸上自衛隊師団化と司令部の地下化に3億円。自衛隊那覇病院の地下化、建て替え検討に1億円。沖縄市の自衛隊弾薬庫新設に2億円。与那国の電子戦部隊新設に38億円。新たなミサイル部隊の用地取得費未公開。まさに「ここ沖縄で戦争します」というようなもの。これでいいのですか答弁願います。

(3) 安保法制に縛られた日本がアメリカに追随し、この時とばかりに「沖縄」を差し出す。まさに、令和の「捨て石」にされようとしている。本町として「安全保障 3 文書」の閣議決定に強く抗議し、その撤回を求めることが必要だと考えるが、町長の見解を問う。

2. 国保税について

【 町長 】

(1) 国のガイドライン(平成28年4月28日付け厚生労働省保険局長通知)で示された、保険料(税)の水準の統一を目指すことについて、県は市町村間の格差の問題があり、被保険者の負担額が急激に変動することへの懸念から、当面は保険料(税)水準を統一しないとしてきたが、法定設置期間が令和5年度までとされていることを踏まえ、将来的な保険料(税)水準の統一については、令和6年度から実施を目指すとしたが、本町の対応について伺いたい。

(2) 水準の統一によって、本町の国保税(税)負担額はどうなるのか。

(3) 仮に負担増となった場合の対策は。

(當眞嗣春 一般質問)

(4) 子供の均等割りが半減された。県と本町の負担割合はどうなっているか。本町の負担額はどのくらいか。

(5) 子育て支援、子供の貧困対策としても、高校生までの均等割りの廃止を本町として、国に対して要請すると同時に、町独自にもさらに減額するよう努力して頂きたい。

(6) 昨年12月、那覇市は国民健康保険加入者で、コロナウイルス感染症に感染し、療養した自営業者に傷病手当が支給されることになりました。県内では初めての実施。全国的には現在、24道府県、41自治体で実施されている国保傷病手当・見舞金。本町でも自営業者への支給を検討し、実施する計画はないか答弁頂きたい。

3. 当町地域防災計画について

【 町長 】

(1) 要配慮者と要支援者の違いについて説明を求めます。

(2) 避難行動要支援者名簿の作成と人数について説明をいただきたい。

(3) 避難行動要支援者の避難訓練の実施計画はどうなっているか答弁を求めます。

4. インボイスについて

【 町長 】

(1) 国や地方自治体、公益財団法人にも適用されるインボイス制度に対する当町の対応と影響について説明を求めます。

(2) 当町の花織・かすり組合の人員数と組合員への影響について、見解を求めます。

□ 岡崎 晋 議員

1. 自治会の事務委託料について

【 町長 】

- (1) 事務委託料の目的を改めて問う。
- (2) 事務委託料は何年間据え置かれてきたか。
- (3) 各自治会の事務委託料はどう算出しているか。
- (4) 新年度は事務委託料を上げてもらいたいが、いくら増額するか。

2. 各自治会内の防犯灯について

【 町長 】

- (1) 行政は防犯灯の設置目的をどう考えるか。
- (2) 各自治会の防犯灯電気料はどう課金されているか。
- (3) 各自治会の防犯灯電気料負担の実態を調査してもらいたいがどうか。
- (4) 沖縄電力から毎月請求される防犯灯の電気料とその防犯灯の設置状況が合致しない自治会がある現状をどう考えるか。
- (5) 行政は沖縄電力に早急に現状に沿った課金に是正してもらうため、各自治会を支援してもらいたいがどうか。
- (6) 町は自治会のこの電気料負担軽減を図るべきではないか。
- (7) まだワット数の高い防犯灯が残っている。自治会の負担軽減の為、これらをワット数の低いものに替えるための支援をしてもらいたいがどうか。

3. 国民健康保険料と後期高齢者医療保険料について

【 町長 】

- (1) 新年度は国民健康保険料をどう見直すか。
- (2) 対象者は平均で何%、いくら負担増となるか。
- (3) 後期高齢者医療保険料をどう見直すか。
- (4) この対象者は平均で何%、いくら負担増となるか。

□ 大宜見洋文 議員

1. 空き家対策特別措置法改正案について

【 町長 】

(1) 本町の空き家はどれくらいあるか。

(2) 本案施行後、南風原町はどう取り組むか。

2. 労働者組合法について

【 町長 】

(1) 昨年施行された。どういう法律か調査研究しているか。

(2) 報道によると、自治会を支える組織、コミュニティ・ビジネスとして有効との先進事例が出始めている。本町での所管はどの課か。

3. 遺伝子組み換え作物について

【 教育長 】

(1) 給食の食材に採用されているものはあるか。

(2) 今後、採用する計画はあるか。

4. 不登校児童生徒について

【 教育長 】

(1) 本町の不登校児童生徒数は？

(2) 不登校に至る要因は。

5. 待機学童について

【 町長 】

(1) 学童保育の申し込みを、DXで対応出来ないか？

(2) 町民から、次年度の学童保育を希望しているが、入所出来ないと断られているとの相談が増えている。2月末には解消される？された？のか。

(3) 解消に向けての対策は？

(大宜見洋文 一般質問)

6. 子ども基本条例について

【 町長 】

(1) 策定は考えているか。

7. プレーパーク整備について

【 町長 】

(1) プレーパークとは。

(2) 町内に整備出来ないか。

8. デジタル・デバイドについて

【 町長 】

(1) デジタル・デバイドとは。

(2) 現在の本町行政サービスの一つとして提供されているホームページでの情報提供に、取り残されている高齢者や障害者への、デジタル・デバイド対策に、どのような支援が可能か。

9. 町民体育館建設に、公民連携（PPP）の手法はどうか

【 町長 】

(1) 公民連携（PPP）での成功事例に、岩手県紫波町のオガールプロジェクトがあるが、調査しているか。

(2) オガールプロジェクトの様に、体育館に宿泊施設を加えて建設、それを観光協会や商工会会員企業との連携で考えられないか。

10. 戰争に備えて町民シェルター整備の考えはあるか？

【 町長 】

(1) 今回の防災計画に含まれていないが、なぜか？

(2) 町民シェルター整備の予定はあるか？

□ 石垣大志 議員

1. 本町の観光振興及び産業振興への取り組みについて

【 町長・産業振興課・まちづくり振興課 】

(1) 国道高架下空間の有効活用に関する本町の取り組みについて伺う。

高架下の空間活用の事例は全国的にも様々な取り組みが増えており、今後、南風原バイパスや南部東道路等の新たな道路が増えてくる中で、高架下空間の有効活用は本町の新たな魅力を引き出す効果があると考えるが本町の見解を伺う。

(2) 花水緑の大回廊公園の、今後の取り組みについて国道高架下の空間活用の予定はあるか伺う。

(3) 道路空間のオープン化への取り組みは本町の観光振興にもつながると考えるが道路空間の活用を観光振興につなげる取り組みができないか見解を伺う。

□ 玉城陽平 議員

1. 本町役場の組織マネジメントと人材育成を問う

【 町長 】

(1) 組織論の分野では、多様な背景の構成員が所属する組織のパフォーマンスが高いことから、問題解決のために組織内の多様性を高める取組みがある。地域課題の複雑化、住民ニーズの多様化等への対応から、本町においても組織内の人材の多様性が求められると考えるが、現状の取り組みを問う。

(2) 新公共経営(NPM)の考え方方が1990年代に日本に輸入されて、その上で規則に基づく管理から目標に基づく管理が目指されてきたが、本町における目標管理マネジメントの取り組み状況とそのための人材育成の取り組みを問う。

(3) 政策マネジメントサイクルの考え方の中に、業績評価指標としてインプット・アウトプット・アウトカム・インパクトを分けて評価を行うものがある。この考え方を用いた本町の業績評価の取り組みの状況とそのための人材育成の取り組みを問う。

(4) 総務省の「地方公共団体における人材マネジメントの方策に関する研究会」の令和3年度報告において、人材マネジメント推進体制の必要性が述べられている。本町における人材マネジメントの取り組みを問う。

(玉城陽平議員 一般質問)

2. 協働のまちづくりの取り組みを問う

【 町長 】

(1) 協働のまちづくりの推進には、住民が主体となる活動を支援していく仕組みづくりが重要で、まちづくりセンターや市民活動支援センターなどの設置の事例がある。まちづくり基本条例で謳われる住民参画と協働の推進に向けた仕組みづくりの現状を問う。

3. 住民との協働において、社会教育行政の今後の果たすべき役割を問う

【 教育長 】

(1) H25の「第6期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」において社会教育行政の課題として、「自前主義からの脱却」、「多様な主体との連携・協働が十分行えていない現状」が挙げられた。協働のまちづくりの推進の観点から、この課題への本町の今後の取り組みを問う。

(2) 協働のまちづくりに取り組む地域課題解決人材の育成、民間の諸活動・首長部局との連携といったネットワーク行政の取組みが社会教育行政においては求められており、その拠点施設として図書館や公民館といった社会教育施設は位置付けられる。専門性の強化、人員増など、まちづくりの拠点としての社会教育施設の今後的人的リソースの拡充の方向性を問う。